

科目区分	専門分野	教育内容	成人看護学 老年看護学（＊領域横断科目）
授業科目	看護対象論概論	単位数(時間)	1 単位(30 時間) ＊成人 0.7 老年0.3
開講年次	1 年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有 ・ 無
目的: 看護における対象理解の基盤を形成するために、人間を生涯発達する存在として捉え、成人期から老年期に至るまでのライフステージ各期の発達の特徴と対象に合わせた看護を実践できるための基礎的能力を養う。 目標: 1 看護の対象である人間の発達段階の特徴を理解できる。 2 成人期・老年期における身体的・心理的・社会的課題を理解できる。 3 成人期・老年期の健康問題を理解し、看護の対象の特徴に合わせた看護を理解できる。			
回数	授業計画		授業準備と復習
1	1 看護の対象理解 1)人間と発達 2)対象に対する看護 (1)個人・家族・地域社会を対象とする看護 2 発達段階ごとの個人の理解 1)ライフサイクルとは 2)発達と発達に影響する因子 3)発達課題とライフイベント 4)発達理論(エリクソン・ハヴィガースト) 5)看護学における発達段階の位置づけ 6)データでみる年齢階級別の特徴(成人・老年)		準備:テキストを読む 復習:授業の復習をする。
2			
3	3 成人期の発達段階からみた対象理解 1)人間のライフサイクルにおける成人期 2)青年期の特徴とニーズ (1)身体的・精神的・社会的特徴(発達課題含) (2)主な健康問題と健康上のニーズ (3)発達に必要な支援		準備:テキストを読む 復習:授業の復習をする。
4	3)壮年期・中年期の特徴とニーズ (1)身体的・精神的・社会的特徴(発達課題含) (2)主な健康問題と健康上のニーズ (3)発達に必要な支援 4)向老期の特徴とニーズ (1)身体的・精神的・社会的特徴(発達課題含) (2)主な健康問題と健康上のニーズ (3)発達に必要な支援		
5			
6	5)成人期にある人の生活 (1)家庭生活 (2)職業生活 (3)生活習慣 (4)健康問題		準備:テキストを読む。 復習:授業の復習をする。
7	(5)生活習慣に関連する健康問題 (6)職業に関連する健康問題 (7)ストレスに関連する健康問題		
8			

9	4 老年期の発達段階からみた対象理解 1)人間のライフサイクルにおける老年期 2)加齢による身体的変化とそれによる生活への影響 循環器、呼吸器、消化器、咀嚼嚥下、脳神経系 認知機能、腎泌尿器、内分泌、成長代謝、性腺ホルモン、 感覚器、運動器、皮膚 3)老年期の精神的・社会的特徴(発達課題含) ※演習(高齢者体験)	準備:「形態機能学」を復習する 復習:授業の復習をする。
10		
11	4)老年期のスピリチュアルな特徴と人生の最期に対する意識 5)健康状態毎の老年期の理解 健康維持増進期、急性期、回復期、慢性期、終末期	準備:テキストを読む。 復習:授業の復習をする。
12	6)薬物療法を受ける高齢者の特徴 7)手術療法を受ける高齢者の特徴	
13	8)健康上のニーズ 9)高齢者の生活とコミュニケーションの特徴 10)高齢者の権利擁護 (1)権利擁護とは (2)偏見と差別(エイジズム) (3)高齢者虐待 (4)身体拘束 (5)権利擁護に関わる制度	準備:テキストを読む。 復習:授業内容の復習をする。
14	11)高齢者に起こりやすい健康問題と疾患	
15	まとめ(1) 試験(1)	
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	レポート 筆記試験 グループ発表資料と発表内容	
テキスト	成人看護学総論 医学書院 老年看護学 医学書院 看護がみえる⑤ 対象の理解Ⅰ メディックメディア	
参考文献	三輪書店 生涯人間発達学 改訂第2版増補版	
履修上の 留意事項	形態機能学による、「発達」が基礎知識として必要になるため、復習して臨むこと。 レポートの提出にあたっては、テキストを繰り返し読み、わかりにくいところは上に挙げた テキストや参考書以外、図書館等で調べるなどの自主学習を行う。	
備 考		